

## 児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2025年 4月 30日

事業所名

わかくさ(さくらんぼルーム)

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		必要以上の物を置かず、広く使えるよう整理している	
	2	職員の配置数は適切である	○		職員配置は適切だが、活動内容によって応援職員が入ったり、作業を分けられるよう工夫している	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		整理整頓を心がけ、子どもがケガをしないようクッション材を使用している	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○			古くなっている箇所の修繕が必要で、準備をしている
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		日々の活動や行事の時などは会議で内容を共有し、行事終了後は参加した職員で振り返りをし意見を共有している	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者からの意見があったときは上位者と相談して改善しようとしている	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		年一回の自己評価を保護者と職員向けに行い、集計した結果をホームページで知らせている	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		法人内外共に座学と実践的な研修を受ける機会を設けている	
適切な支援の埴	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		半年に一度職員間で評価をし、保護者の意見も聞いたうえで計画を作成している	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		子どもの現在の様子を知るためのツールを利用している	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		子どもの発達の5領域に沿った計画を立て、家族支援などの具体的な支援内容を記入して、保護者に確認してもらっている	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		支援計画に沿って子どもの対応をしている	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		会議などを通して行事の内容などを決めている	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		研修で教わったこと等を活動に生かし、子どもたちの興味のあることを活動に生かしている	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
提供	16	○		時間帯・年齢・発達に応じて必要な支援を実施し、計画を作成している	
	17	○		日々の打ち合わせは担当が揃い次第実施している	
	18	○		活動後の自由遊びの時間に子どもの様子を共有しあい、次の支援につなげている	
	19	○		業務日誌に毎日の活動や子どもの様子を記録している	
	20	○		半年に一度保護者と話し合い、計画を見直している	
関係機関や保護者との連携	21		○		サービス担当者会議に参加する機会がなかったが、今後も連携は取っていく
	22	○		同じ事業所の職員が連携を取り、内容を共有している	
	23				
	24				
	25	○		子どもの通う園と連携して、情報交換をしたりお互い工夫している点を共有している	
	26	○		小学校入学前に子どもの引き継ぎを行っている	
	27	○		同法人の児発と会議をして、情報交換や緊急対応時の研修を一緒に受け、自立支援協議会・障協にも参加し、助言を受けている	
	28	○		同法人の保育園と交流の機会を設けるようにしている	
	29	○		可能な限り参加し、他事業所との連携を取っている	
	30	○		送迎時や連絡ノートで子どもの様子を共有し、必要な時は電話で話すこともある	
	31	○		茶話会等を通してお互いの育児の悩みや、工夫していることを話し合う場を設けている	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約の際に必要な事項を保護者に説明している	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		5領域に沿った支援計画を立て、計画更新の際は保護者の方との懇談の際ご説明をし同意を得ている	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		子どもの様子に変化がある時など連絡ノートや電話などで話を聞き、一緒に対応を考えている	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		保護者会の機会を増やし、保護者が興味を持てる内容を考えている	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		まず電話で詳しく話を聞いたり、必要があれば家庭訪問や懇談の場を設けている	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		月に一度お便りを発行し、その月の子どもたちの様子や次月の行事などを知らせている	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		個人ファイルなど子どもの情報の書いてある物は目に触れないよう保管している	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		視覚的に分かりやすいよう絵や写真を使ったり、ジェスチャーを交えて説明している	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	地域の方を行事にご招待は出来ていないが、勤労感謝の時にプレゼントを持っていく等交流はしている	コロナ以降実施が出来ていない行事もある為、実施を再開予定
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		年度初めにマニュアルの読み合わせをしている。また緊急時の対応などは必要に応じて保護者の方に配布している	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		月一度、地震や水害、火事に対する避難訓練を行っている	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	○		契約時に既往歴やケインの有無等をお聞きし、書面で確認、職員間で情報共有している	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		現在対象の利用児さんはいない
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハット事例が起きた際に書面を作成し、会議等で共有している	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		定期的に虐待防委員会・身体拘束適正化委員会や研修を実施し対応している	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		どのような場合に身体拘束が必要かを重要事項に記載し、また支援計画にも記載して保護者に説明をしている	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。